

〈弱いロボット〉的 思考のすすめ

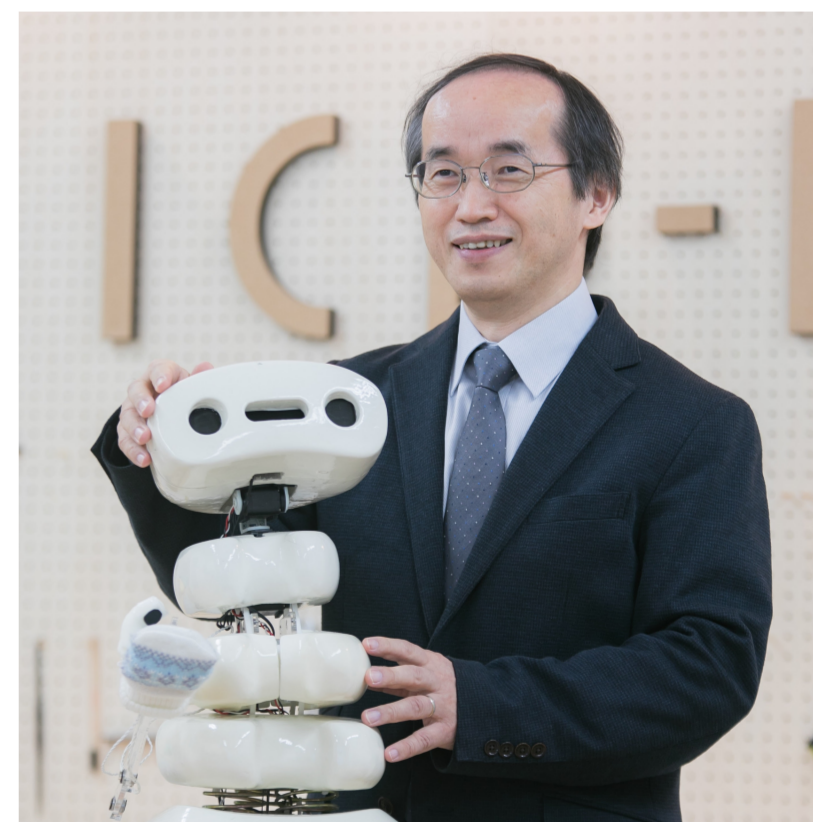
〈弱さ〉から生まれるもう一つの
コミュニケーションとケアのかたち

このところロボットや人工知能って、すごい、すごい！といわれるけれど、よくよく考えれば、苦手なところ、弱いところもたくさんあるはず。いつも強がるばかりでなく、その〈弱さ〉をさらけだしてみてもどうか。そうした発想から生み出された〈弱いロボット〉たち……。こうした〈弱いロボット〉たちとのかかわりを手掛かりに、〈弱さ〉から生まれるコミュニケーションやケアということについて考えてみます。

岡田美智男 先生

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系教授、人間・ロボット共生リサーチセンター長

ご専門は、コミュニケーションの認知科学、社会的ロボティクス、ヒューマン・ロボットインタラクション。主な著書は「弱いロボット」（医学書院）、「〈弱いロボット〉の思考 わたし・身体・コミュニケーション」（講談社現代新書）など。「弱いロボットの概念に基づく人とロボットの共生技術の振興」に対して、平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」（科学技術振興部門）を受賞の他、数多くの賞を受賞。



2019年10月26日（土） 13:00～14:30

山口県立大学講堂（桜園会館）－入場無料－

〒753-0021 山口市桜島6丁目2-1

お問い合わせ

山口県立大学看護栄養学部事務室

TEL：083-933-1450 Email：kangojim@n.ypu.jp